

くらしの赤信号

ウェブサイトを閲覧中の

「ニセ」警告音にご注意!

パソコンでウェブサイトを見ていたら、突然警告音が鳴り出した。音が鳴り止まなかったため、画面上に表示されていた「対策をする」というメッセージに記載されていた電話番号に連絡をした。

電話の相手から、「ウイルスに感染しており、ウイルス対策ソフトを購入する必要があります」と言われ、クレジットカードの番号を教えた。その後、相手の指示に従いパソコンを操作した後、遠隔操作によって警告音は消えたが、とても不審である。



アドバイス

- 警告音や画面上に警告表示が出ても、慌てずに落ち着いて対応しましょう**
 パソコンでウェブサイトを閲覧中に突然、警告音が鳴り出し、「ウイルスに感染した」等の警告表示が出たまま消えず、画面上の電話番号に連絡してしまい、ウイルス対策ソフト等の料金を請求されるという事例が多く報告されています。
 これは、実際のウイルス感染により表示されたものではなく、特定のサイトにアクセスした際に、警告音が鳴る、または警告表示が表れているにすぎません。くれぐれも慌てて画面上の電話番号に連絡しないようにしましょう。
- 対処方法はありますので、ご安心ください**
 警告音や警告表示を消す方法は、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が発行している「安心相談窓口だより」(<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20160621.html>)に記載されています。すでにクレジットカードの番号を教えてカード会社から請求された等の場合は、消費生活センターへご相談ください。

困ったら
ご相談を!

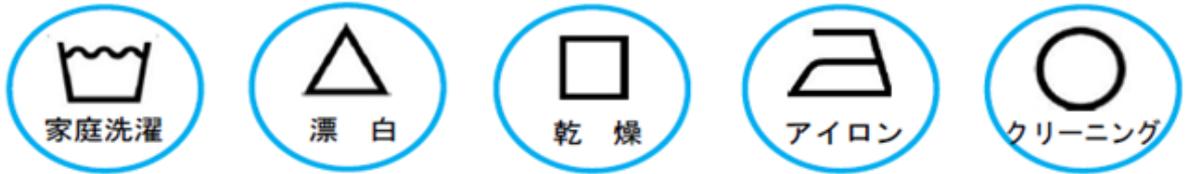
平成 28 年 12 月より、洗濯表示が変わりました！

表示方法が大きく変わっているため、洗濯の取扱いにお間違いのないよう、ご注意ください！

新しい「洗濯表示」のポイント

「基本記号」と、「付加記号」や「数字」の組合せで構成されます。

● 5つの基本記号



*上記の順に表示されます。

● 付加記号と数字 文字ではなく、記号と数字で強さや温度、禁止を表します。

新しい「洗濯表示」の記号と意味

旧洗濯表示の記号 JIS L 0217 より抜粋	新しい「洗濯表示」の記号 (付加記号を含む) JIS L 0001 より抜粋
家庭洗濯の記号 	家庭洗濯の記号 <p>家庭洗濯（洗濯機洗い）ができます。 記号の中の「数字」は洗濯液の上限温度です。 「-」は「線なし」よりも、弱く、 「=」は更に弱い洗濯機での洗い方です。</p> <p>「手洗い」をします。 洗濯液の上限温度は 40℃です。</p> <p>家庭での洗濯は できません。</p>
アイロン仕上げの記号 	アイロン仕上げの記号 <p>アイロンを掛けることができます。 「点（・）」はアイロンの底面温度 の上限を表します。</p> <p>「…」は 200℃（高温）まで 「・・」は 150℃（中温）まで 「・」は 110℃（低温）まで</p> <p>アイロンは 掛けられません。</p>
ドライクリーニングの記号 	ドライクリーニングの記号 ドライクリーニングができます。 NEW ウェットクリーニングの記号 <p>「P」パークロロエチレンなどの 溶剤を使用します。</p> <p>「F」石油系溶剤を使用します。</p> <p>ドライクリーニング はできません。</p> <p>「W」ウェットクリーニングができます。</p> <p>「W」ウェットクリーニング はできません。</p>